

平成23年度当初予算 予算要求シート

整理番号 **14 - 020**

局・課名／ **子ども青少年局 子ども相談所**

(単位 千円)

事業名	児童家庭支援センター事業		平成21年度決算額	平成22年度予算額	平成23年度要求額	
関連事業		事業費	9,416	9,416	12,695	
		事業期間	H19 ~	全体事業費		
事業目的	<p>児童と家庭の専門相談機関として、児童福祉法に基づき設置。家庭や関係機関等からの相談のうち、育児不安が高く虐待の恐れがあるなど、より専門的な知識や技術を必要とする家庭に対し、技術的助言その他必要な援助を行う。また、要支援児童やその保護者に対して専門的指導※を行うことにより、地域での児童及び家庭の福祉の向上を図るとともに、児童虐待の未然防止も目的とする。(※心理職員による怒りや衝動をコントロールできるようになる「セカンドステッププログラム」や自分に合った子育ての方法を見つけ出す「ノーバディーズパーフェクトプログラム」等を活用した指導)</p>					
事業内容	今年度要求のポイント					
	<p>◎核家族化、少子化が進む中で育児不安を抱える保護者が増加しており、各関係機関が、より専門的なアプローチの支援の場として児童家庭支援センターで行っている「セカンドステップ」や「ノーバディーズパーフェクトプログラム」「ママの会」等への紹介を行っている。しかし、心理療法士が非常勤であるため、回数や定数に限りがあり、現在、それぞれの支援を受けたいという児童・保護者が常に多数待機している状態である。今後、このプログラムを求めているより多くの児童・保護者への支援を行っていくためにも、各支援プログラムについて拡充を行なうことで、虐待防止にも効果がある。</p>					
	主要要求内容 (単位：千円)					
<p>①来所相談 (1)子育て相談(地域の児童の福祉に関する相談に応じる) (2)発達検査(発達検査や子どもの関わり方についての相談に応じる。)</p> <p>②地域交流事業 (1)あそびの広場(プレイルーム開放) (2)あかちゃんのひろば (3)ノーバディーズパーフェクトプログラム (4)ママの会 (5)セカンドステップ</p> <p>③子ども相談所からの指導委託 ④関係機関等との連携・連絡調整 ◎電話相談 ・堺市子ども虐待ダイヤル(24時間365日対応)の夜間・休日等の受付</p>	項目	22年度予算	23年度要求額	内容・積算等		
	児童家庭支援センター運営委託	9,416	12,695	人件費(常勤2名・非常勤1名) 11,545千円		
				事務費 1,150千円		
		合計	9,416	12,695		
	スケジュール(経過及び今後展開)					その他 特記事項
<p>【経過(～22年度)】 H19.4月～ 児童家庭支援センター事業開始</p>		<p>【23年度】 地域支援事業の拡大</p>		<p>【今後(～24年度)】 事業の継続実施</p>		